

第 92 号

令和 7 年 10 月 発行

茶業会議所広報

発行所

(公社)静岡県茶業会議所

静岡市葵区北番町 81 番地

電話 (054)271-5 2 7 1 (代)

FAX (054)252-0 3 3 1

http://shizuoka-cha.com/

『静岡茶を世界へ』 共創 ～さあ共に！自ら動きだす～

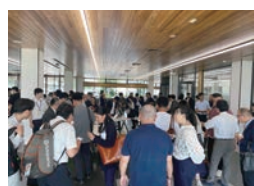


現地視察

静岡県と静岡県茶業会議所が中心となり、世界に通用する静岡茶ブランドの構築を目指す「静岡茶ブランディングプロジェクト」が発足し、総合プロデューサーに佐藤可士和さんが就任しました。7月4日に県茶業研究センター（令和7年4月リニューアル）にて、初会合となるキックオフミーティングを開催し、茶業を中心に多様な業種からなるプロジェクトメンバーやJA静岡経済連、県茶商など生産、流通、行政関係者で構成する推進委員が集まりました。このプロジェクトでは静岡茶の多様性を踏まえたブランド構築を目指します。



キックオフミーティング



キックオフミーティング



戦略会議

プロジェクトSNS



instagram



X



facebook

令和7年度Cha-1グランプリの開催

県内の小中学生を対象とした静岡茶の知識を競う大会「Cha-1グランプリ」（静岡県主催）。令和7年8月3日、東部（沼津市）、中部（藤枝市）、西部（磐田市）の3会場にて予選会を実施しました。お茶のクイズ、外観当て、お茶の飲み比べの競技を行いました。本戦は10月26日、世界お茶まつり2025の会場内にて、予選成績上位15名と各市町のお茶大会の上位入賞者26名、合計41名がお茶キッズNo.1を目指して戦います。



大阪・関西万博「日本茶応援消費拡大キャンペーン」の実施

令和7年6月8日から6月15日まで日本茶のPRと消費拡大のため、農林水産省、日本茶業体制強化推進協議会が連携し、大阪・関西万博へ出展しました。茶業会議所がある静岡、三重、京都、鹿児島が2日間ずつ来場者へ呈茶と地元のお茶のPRを行いました。静岡茶を代表し、緑茶2種と紅茶1種を2日間で3,000杯程度提供しました。また、お茶の淹れ方教室のライブも随時行い、静岡の山間地の話や抽出温度の違い、品種の比較体験を行い、大変好評でした。



新刊本「製茶の研究 日本茶はなぜ真直ぐになったのか」発売

茶商であり、製茶の研究の第一人者でもある桑原秀樹氏が、「お抹茶のすべて」「製茶の研究」「茶の合組理論」「焙じ茶と川柳の研究」「精揉機の魅力」「碾茶の現状と未来2024年」などの、これまで月刊誌「茶」へ寄稿された連載に加え、各所へ寄稿した文献を取りまとめた一冊です。桑原氏が独自に解説する「茶用語辞典」も秀逸。

桑原秀樹 著（発行(公社)静岡県茶業会議所）

2025年4月初版 全521ページ A5サイズ

本体価格 2,700円（税込み価格 2,970円）・送料別

書籍申込フォーム➡



◆ 令和7年度予算 ◆

令和7年度の茶業振興費については、下記のとおりです。

1 茶業振興費の徴収

茶業振興費の徴収方法は、従価制とし、茶業会議所・会員及び茶業会議所が徴収を委託した(株)静岡茶市場が徴収する。

2 茶業振興費の負担額

(1) 生産割 売り手（生産者）が負担し、徴収者に預ける。

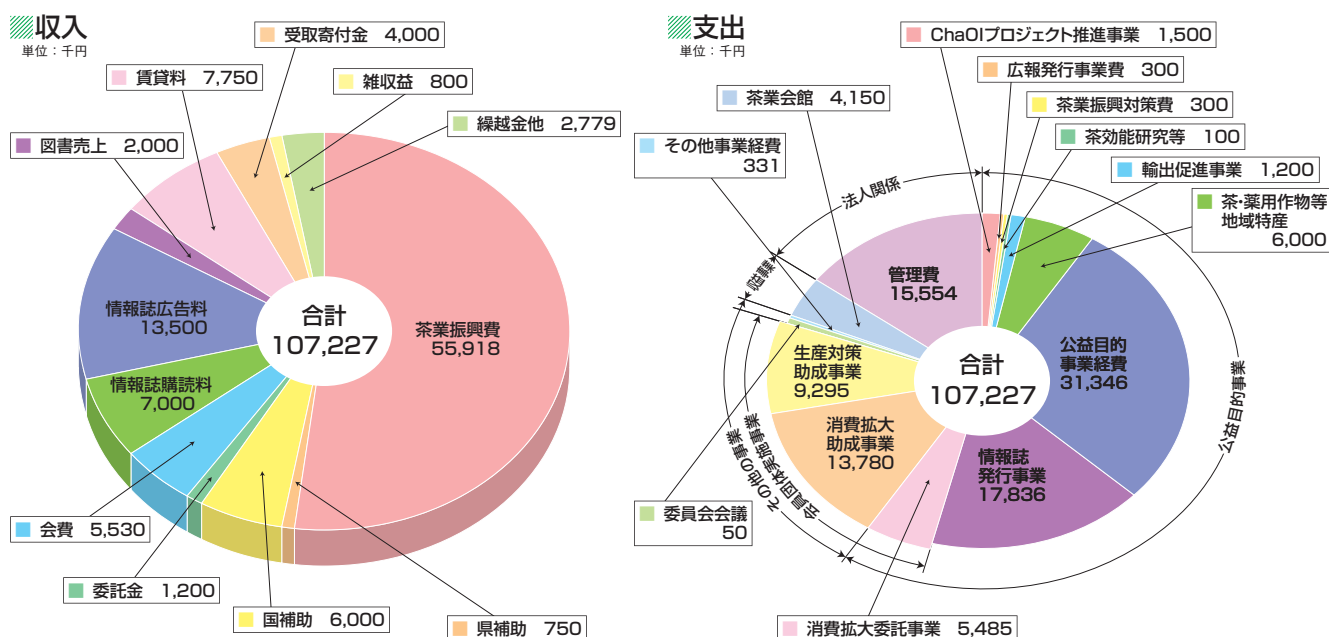
粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価－粉引額）×0.1%

(2) 宣伝割 売り手（生産者）、買い手がそれぞれ負担し、徴収者に預ける。

売り手負担分：粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価－粉引額）×0.18%

買い手負担分：粉引後の荒茶取引額（荒茶受渡数量×単価－粉引額）×0.18%

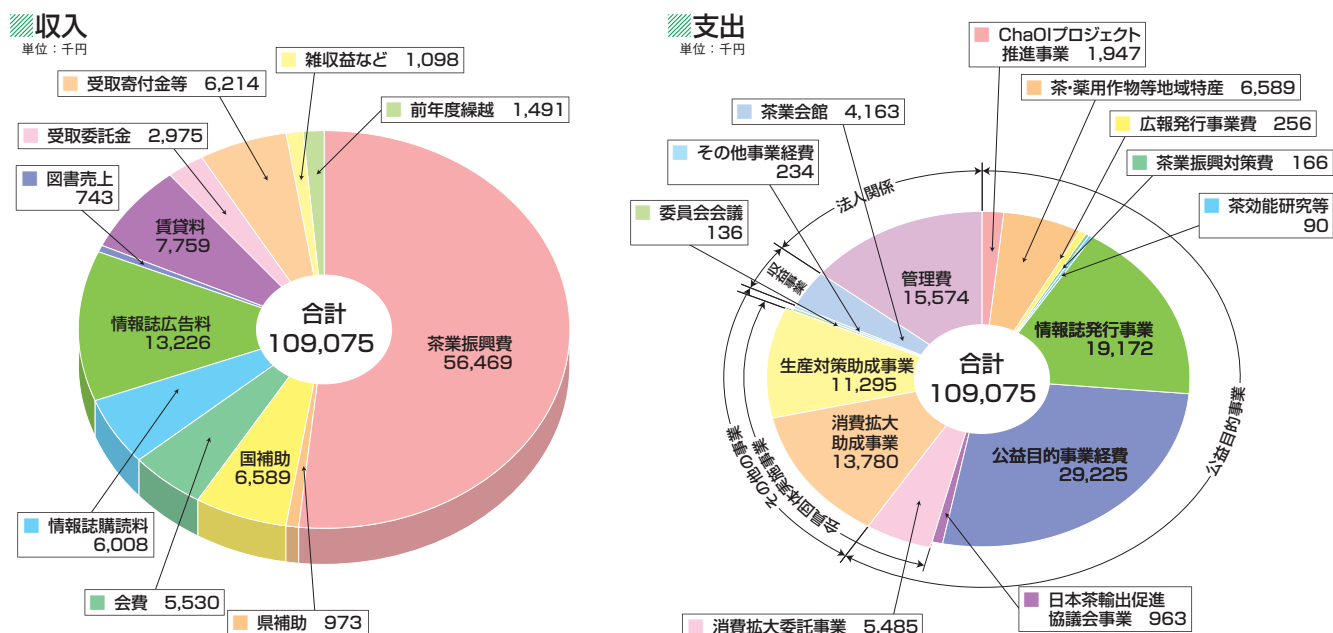
■ 皆様の茶業振興費は、このように使われます。(R7.3.17 理事会で承認)



◆ 令和6年度決算 ◆

令和6年度事業につきましては、令和7年6月23日(日)に開催した総会において承認されました。

■ 皆様の茶業振興費は、このように使われました。



令和
6年度

第78回全国お茶まつり静岡大会

「はままつ茶+（プラス）」多様なお茶の魅力を発信!!

令和6年11月2日～3日浜松市で開催し、延べ約2万人が来場しました。大会式典では、大会長の鈴木県知事、開催地の中野市長ら参加のもと、全国茶品評会での農林水産大臣賞、産地賞などの表彰がされました。消費拡大メイン会場では、静岡県内外の各産地から100店が出店。アンバサダー達による

ライブや地元の学校によるパフォーマンスなどを行いました。さらに浜松いわた信用金庫本店棟（サテライト会場）では、日本茶アワードの三次審査や若手実業家の講演会なども実施しました。



大会式典



消費拡大イベント



全品出品茶展示



消費拡大イベント

国庫事業【持続的生産強化対策事業】

「新たなクラフトティーの開発」

食の嗜好が多様化する中、若者や女性を中心に「香り」に特徴のあるお茶を評価する傾向が強くなってきています。このため、良質茶を生産する川根本町を対象に、煎茶や和紅茶、一番茶を使ったほうじ茶などとともに、地域特産品のゆずを組み合わせ、さらにそのお茶の粉末を活用したスイーツの開発を行い、有識者に向けて発表しました。また、川根本町の自然や環境とともに、良質茶の生産の現場を撮影し、日本語版、英語版、イタリア語版を作成し、お茶と地域の情報提供を進めました。



川根茶動画

茶の機能性研究等事業

公開シンポジウムの開催

茶学術研究会は、令和7年2月15日親子を対象とした『子ども体験セミナー知らなかった「お茶のヒミツ」』を東京新橋 お～いお茶ミュージアムにて開催しました。会員の大学の先生がお茶のかくれた「ヒミツ」を実験や体験をとおして分かりやすく解説しました。



第40回茶学術研究会講演会

令和7年2月27日茶学術研究会主催による「第40回茶学術研究会講演会」を開催しました。茶の機能性などに関する一般講演（7課題）及び特別講演（1課題）を行いました。

日本茶輸出促進協議会事業

日本茶輸出促進協議会からの委託を受け、モデル地区を6か所設置し、慣行及び有機栽培の状況確認や、残留農薬分析及び成分分析（一番茶、秋冬番茶）を行いました。また、ドリフトとコンタミの可能性について検証などを行い、輸出向け茶製造の実証栽培を行いました。

生産対策助成事業（県経済連へ助成）

国内外の消費者に安全・安心・良質で多様な静岡茶の供給をするための栽培・製造指導各種研究会を開催しました。また、基盤整備や改植の推進、茶工場の経営強化、低コスト化に向けた管理指導、生産者と実需者とのマッチングに取組み、静岡茶ブランドの強化を図りました。

▶一番茶生育調査



◀静岡県茶業者集会



▶静岡県農協茶担当技術員全体研修会



◀第78回全国茶品評会



▶第39回静岡県茶生産青年茶審査技術競技会



◀碾茶勉強会

静岡茶消費拡大助成事業（県茶商へ助成）
静岡茶消費拡大委託事業（県茶商へ委託）

静岡茶の販売力強化を図るため、茶処静岡のPRに努め、本格的な緑茶ファンの獲得と茶専門店の活性化のための普及推進事業や消費拡大を目的とした宣伝・啓発活動、後継者の育成を行いました。

▶OBCラジオまつり（大阪）



◀全国ふるさとフェア（横浜）



▶ジャパンキャンペーン（東京）



◀淹れ方教室



▶遠州ふくろいの花火大会



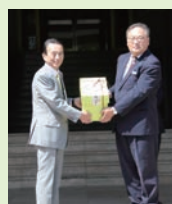
◀淹れ方教室



令和7年度

令和7年度知事への新茶贈呈

令和7年5月14日、摘みたての瑞々しい新茶を贈呈し、新茶の魅力を発信するため、静岡県庁本館前にて本県茶業関係者及び県内16産地の贈呈者による静岡県知事への新茶贈呈式を開催しました。



令和7年度杉山彦三郎賞の表彰

令和7年5月1日、杉山彦三郎翁顕彰会は、4名を杉山彦三郎翁賞受賞者として表彰を行いました。(敬称略)

◇茶品種改良・普及功績賞

鈴木康孝 (65)

◇茶業振興功労賞

原科 篤 (69)

新井 稔 (87)

枝村康生 (72)



令和7年度茶業功績者表彰

令和7年6月23日、本県茶業の発展向上に顕著な功績のあった方や集団を表彰し、茶業の振興に資することを目的とする功績者の表彰を行いました。(敬称略)

市川真太郎 (54)

原田宗一郎 (54)



令和6年度

令和6年度県ChaOIプロジェクト推進事業 販路開拓事業

東京上野 アメ横表通り商店街との連携 ～令和7年度「静岡茶(摩利支)の奉納」～

首都圏での静岡茶のPR、販路開拓に取り組みを進めました。特に国内外の人で賑わう東京上野アメ横表通り商店街振興組合と茶業者のご協力のもと、「静岡茶商談会」や「商店街商店の店先での試飲販売」、お茶好きをターゲットにした「静岡茶コレクション」を開催しました。多種多様な静岡茶が登場し、直接作り手の話を聞きながら、一同に集まったお茶を楽しめる機会となり、多くのお客様で賑わいました。そして、令和7年5月30日に商店街の守り神である摩利支天徳大寺にて

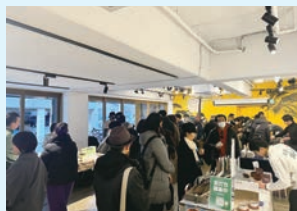
静岡茶(品種 摩利支)を奉納しました。半年間ご祈禱を受けた縁起物として11月2日の摩利支天で開催される大祭にて開封します。



アメ横×静岡茶



静岡茶商談会



静岡茶コレクション



摩利支天へ茶の奉納

令和6年度県ChaOIプロジェクト推進事業 静岡茶海外戦略展開支援事業

静岡茶海外展開支援の推進のため、静岡県茶業会議所、JA静岡経済連、静岡銀行が連携し、北米最大のお茶展示会「World Tea Expo2024」・世界最大級のドイツオーガニック食品展示会「BIOFACH2025」へ出展しました。県内茶商と茶生産者が一体となり、海外に販路を持つ商社やバイヤーとのビジネスマッチングを図りながら、静岡茶の魅力を世界へ発信し、輸出拡大を図っています。



世界お茶まつり2025 光輝燦然！#私のO-CHA和ールド開催！！

【春の祭典】 令和7年4月19日(土)～5月21日(水)

お茶の体験施設やイベント、お茶の販売店やカフェなどを回遊して楽しむ「新茶フェア」などお茶関連プログラムを実施しました。

【秋の祭典】 令和7年10月23日(木)～10月26日(日)

会場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

「ワールドO-CHAマーケット」「SweetTEAベアリング」「世界の路上茶屋体験」「世界緑茶会議・茶学術研究会」「お茶とウェルネス」「アートとお茶」や芝生広場での「お茶とアウトドア」など新しい時代のライフスタイルに合ったお茶の提案などが楽しめます。

